

対話型

アートプログラム



(アートルリップ)

アートルリップとは

「アートで旅をする」ことです。

グループでアートを見て進行役のアートコンダクターの質問に答えながら、参加者が感じたこと、思ったことを自由に発言、共有する対話型のプログラムです。プログラムに参加することで自尊心が高まり、うつが軽減、QOL(生活の質)が向上すると言われています。

日程

※2回とも同じ内容です。

10/11 木

14:00-15:30(受付13:30から)

11/2 金

14:00-15:30(受付13:30から)

場所

平山郁夫シルクロード美術館

北杜市長坂町小荒間2000-6 TEL 0551-32-0225



参加無料

対象者

市内在住の認知症の方とその家族・介護者・一般市民

定員

各回30名(要申込)

*申し込み多数の場合は、認知症の方とその家族、介護者優先となります。

プログラム

アートプログラム(アートルリップ)体験

アートコンダクター 横山 綾子氏・奥石 美和子氏



お申込み
お問合せ

北杜市 市民部

介護支援課 包括支援担当

TEL 42-1336

協力:公益財団法人 平山郁夫シルクロード美術館

公益社団法人 認知症の人と家族の会山梨県支部 峡北地域「虹の会」

一般社団法人 アーツアライブ ほくとの介護応援隊 はれのひ

平成29年度対話型アートプログラム参加者の声

認知症の方と介護されている家族の方の声

・始まる前は不安な表情だったが、体験が始まると身振り手振りで表現し驚いた。

・体験中は表情も和らぎ笑顔だった。

・15人くらいのグループで体験することで絵の話題が共有でき会話が広がった。

・1つの絵をゆっくり時間かけてみることで、普段あまり言葉がでなかった妻がアートコンダクターとの対話でいろいろ発言していた。同じ席で家族も思いを共有できてとてもいい時間が過ごせた。

・感動した。

・絵を見ているが音が聞こえたように思えた。

介護スタッフの声

～介護スタッフも体験しました～

初めて参加しドキドキでしたが、最後はリラックスし、他の方とも話が弾み楽しかった。他の方も体験してほしい。

忙しい日々の中で、久しぶりにゆったりとした楽しい時間を過ごせて、自分自身がリフレッシュできた。



©平山郁夫シルクロード美術館



©平山郁夫シルクロード美術館

家族の方へ

ご本人の記憶がよみがえった時、あるいは元気になられた時、ご本人以上に喜ばれるのが家族の方です。表情が次第に変わっていく、声に自信が感じられるようになっていく、眼に力を感じられるようになっていく…。待ち望んでいた一瞬、一瞬が目の前で起こっていく…。そんな体験をぜひ、していただきたいと思っています。